



令和6年1月22日

報道関係者各位

山県市

第2次山県市シティプロモーション事業
スノーピークのモバイルハウス『住箱-JYUBAKO-』を活用した
「お試しプチ滞在」を開始
将来的な定住人口増加を見据え、濃厚な関係人口創出へ実証

山県市（市長 林 宏優 以下 当市）は、この度、アウトドアメーカーのスノーピークが提供するモバイルハウス『住箱-JYUBAKO-』（じゅうばこ）を宿泊用に特設し、市外からの来訪者が1泊の滞在期間中、リモートワークに勤しみつつ、地元事業者との交流や自然を体感いただく「お試しプチ滞在」を1月22日(月)から2月12日(月)の期間で実施します。



当市は、平成27年度から認知度向上、交流・関係人口の増加を目的に、閲覧数100万回を超えるwebサイト『YAMAGATA BASE』での情報発信、延べ1,000人以上の市外在住者が参加した各種イベントや日帰りツアーを実施する等シティプロモーション事業を展開してきました。

そして、滞在時間延長がさらなる成果、濃厚な関係人口創出につながると仮定し、今年度より「第2次山県市シティプロモーション事業」を始動。今注目の「ワーケーション」で宿泊滞在いただき、鳥の鳴き声が聞こえるコワーキングスペースで仕事し、地元事業者とのふれあい・交流を図れる機会を設ける実証に取り組むこととしました。

また、宿泊施設には当市の豊かな自然を体感いただくべく、「住まいと自然との調和」を目的に建築家の隈研吾氏とアウトドアメーカーのスノーピークが共同で開発したモバイルハウス『住箱-JYUBAKO-』を採用しました。

本取り組みにて、「山県市シティプロモーション」の新たなステージを築いてまいります。



■「お試しプチ滞在」実証概要

滞在期間： 1月22日(月)-2月12日(月)

参加人数：21組

参加費：無料 ※現地までの交通費は各自負担

内容：ワーケーションによる宿泊滞在を通して当市の魅力を体感いただき、当市への関心と愛着の醸成を検証する

詳細：特設ページ 魅力発信サイト『YAMAGATA BASE』(<https://yamagata-base.com/>)

担当課：山県市 企画財政課

■『住箱-JYUBAKO-』（じゅうばこ）について

『住箱-JYUBAKO-』は「住まいと自然との調和」を目的に建築家の隈研吾氏とアウトドアメーカーのスノーピークが共同で開発したモバイルハウスです。風光明媚な自然環境の中で、快適な住空間が楽しめる宿泊施設や別荘としての利活用に加え、カフェや花屋など店舗にも使われています。

将来的な定住人口増加を志向し『住箱』を宿泊施設として活用するのは、当市が岐阜県初となります。



利活用事例、仕様などの詳細は web サイトをご覧ください

<https://www.snowpeak.co.jp/sp/jyubako/>

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ】

山県市 企画財政課 篠田

Tel : 0581-22-6825 Fax : 0581-27-2075

Mail : kikaku@city.gifu-yamagata.lg.jp